

チーム名	ふくしま3150 (サイコー)	大学名・学部	東京国際大学 国際関係学部	福島復興ステージ
プラン名称	ひろので ひので ~After ひろので ひるね~			
リーダー名	堀江莉帆	メンバー名	齋藤怜、岩元康浩、矢野あずみ、渡邊隼太、上野颯太、原真由、大塚彩奈	
指導教職員名	久野道広			

12市町村共通の課題

- ・ 風評被害
- ・ 人口減少 (少子高齢化)
- ・ 町のにぎわいの喪失

広野町独自の課題

- ・ シビックプライドの希薄化
- ・ 原発作業員の北上に伴う、地元経済の停滞
- ・ とくに少ない観光スポット

フィールドワークでの気づき

- ・ 日の出は本当に美しい
- ・ 広野町は宿泊施設が多い
- ・ 「日本一美しい日の出の町」は町内外でのアピールが足りない



課題解決の方向性

キーパーソンとの協業

青木様: プロジェクト全体の全体企画設計・運営
木村様: 朝ごはん企画他、食コンテンツの企画・運営
大場様: 古民家活用や朝ヨガ等の企画・運営



選択コンテンツ

自然: 日本一美しい日の出の町
農業: ひろの米/日本酒・バナナ・みかん
ニッ沼総合公園: イベントスポットとして活用
自由コンテンツ: 宿泊施設



広野町独自の課題

12市町村共通の課題ならびに
広野町独自の課題を解決できる
観光まちづくりプランの企画・立案

提案の骨子

キーパーソンと想いを共有し、キーパーソンの持つ魅力的なコンテンツを活用。
日本一美しい日の出に着目し、広野町ならではの観光資源と組み合わせる。
また、宿泊施設が多いことにも注目。
新しい観光スポットを整備し、町内外から人々が集い、シビックプライドの醸成、交流人口の増加、地域経済活性化を目指し、最終的には、移住先として選ばれる町となる。

提案コンセプト

シティプロモーション
「日本一美しい日の出の町」をさらに推進する観光まちづくりプラン。

コンセプトワード

ひろので ひので

実現した場合の効果

	広野町	来訪客
社会的効果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町内外問わず日の出とイベントを通じて町のブランド確立 ・ 日の出を通じて地元住民と観光客と交流 ・ 地域参加型イベントを共に作り上げるによるシビックプライドの醸成 ・ 地産地消の活性化 	<ul style="list-style-type: none"> ・ リピートして第2のふるさととしての認知 ・ その先の移住先としての検討
経済的効果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 宿泊者数の増加 (宿泊施設の稼働率アップ) ・ 閑散期対策 ・ 観光関連事業者への経済波及効果 	<ul style="list-style-type: none"> ・ PRICELESS (お金で買えない体験コンテンツの数々)

新規性がある具体的施策

- ①町内外へアピールする象徴となる日の出スポットの新設
地図に載るスポットをつくる
- ②日の出をさらにステキに見せる広野町ならではの月替わりの演出・コンテンツ

月	季節感	広野町ならではの
1月	初日の出・初詣	広野町の神社
2月	バレンタインデー	バナナ「綺麗」
3月	卒業式	太平洋の海岸線
4月	お花見	地酒
5月	ゴルフの日	パークゴルフ
6月	ヨガの日	フルーツ
7月	花火	美しい太平洋
8月	バナナの日	バナナ「綺麗」
9月	ジョギング大会	かんそうバナナ
10月	新米	ひろの米
11月	こたつ・みかん	みかん
12月	冬至	折木温泉

- ③早起きをすると、眠たくなる。ひるねプランの開発

- ・ 元広野の古民家を利用したひるねプラン
- ・ 町内の飲食店を利用したランチ&ひるねプラン
- ・ ニッ沼総合公園を中心に、ひるねスポットを設置

実現計画

まずは5か年計画で中長期的なまちづくりを推進

プロジェクト発足	スポットの建設・完成 コンテンツの開発	日の出プランの販売 コンテンツの実施
2024年	2025年	2026年
2027年	2028年	
スポット新設 計画承認		日の出プラン造成 コンテンツ実施の調整